

令和4年度学校評価報告書

1 本年度の重点目標

- 基礎学力の向上と家庭学習の習慣化 ～自ら学ぶ姿勢の育成を目指して～
 ○規範意識の涵養と思いやる心の育成 ～凡事徹底の意識向上を目指して～
 ○進路実現に向けた主体的行動の促進 ～第一志望進路決定100%を目指して～
 ○自然や人との共生 ～心豊かな人間の育成を目指して～

2 自己評価結果に対する学校関係者評価

A 達成している B おおよそ達成している C あまり達成していない D 達成していない

評価分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		自己評価結果	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
学習指導	① 研究授業や学び合いをととした授業力向上について	B	学年が上がり学習内容が難しくなるにつれて理解度が下がる傾向にある。ICTの活用などに努め、生徒の学習意欲・理解度を向上させる。	B	B
	② 個に応じた学習指導	A	学年を中心とした定期考査前の個別学習指導は一定の効果があった。次年度は考査前だけではなく「躓き」への早期対応ができるよう工夫する。	B	B
学校関係者評価委員会における意見		○学習意欲、学力の向上は当地区の学校課題の1つである。教員の指導力・授業力向上に努め、課題解決に向けた取り組みを期待する。 ○1人1台のタブレット端末利用に向け、中学校の利用状況などの把握も必要と考える。			
生徒指導	① 生徒が安全・安心に過ごせる学校づくりについて	A	災害・非常時の対応に関する取組について、生徒の肯定的評価は95%であった。自然災害に加え、防犯、交通安全に関する指導をより徹底する。	A	A
	② いじめ防止対策の周知について	B	いじめ防止対策について、学校評価の生徒・保護者の肯定的評価は昨年度を上回った。LHRなど様々な場面を活用し未然防止に努める。	A	A
学校関係者評価委員会における意見		○地震・津波以外の防災対応も求められている。多様な防災訓練の在り方を検討して欲しい。 ○生徒指導については適切に行われていると感じる。これからも安全・安心な学校づくりの推進に期待する。			
進路指導	① 進路実現への意欲向上支援について	A	こまめな進路相談と地学地就コーディネーターの職場開拓により達成率は高水準であった。次年度は共通テスト対策など進学指導の充実を図る。	A	A
	② 「産業社会と人間」や「総合的な探究の時間」の活用について	B	「産業社会と人間」では外部講師の活用が定着してきた。「総合的な探究の時間」では教員の指導力向上のために研修会等を充実させたい。	B	A
学校関係者評価委員会における意見		○地域を愛し、地域と共に生きる人づくりをお願いしたい。 ○進学指導では模擬試験の活用など、個に応じた進路指導体制を整えて欲しい。 ○進路指導では外部講師の活用を推進し、生徒の意識向上につなげて欲しい。			
地域連携	① 学校情報の積極的な発信について	A	学校HPでは、掲載手順を簡素化し、多くの職員が情報発信に努めたことで閲覧数が大幅に増加した。次年度も動きのあるHP運用に努める。	A	B
	② 特色ある学校づくりについて	B	特色ある学校づくりについて、生徒・保護者ともに学校評価の肯定的評価は上昇した。次年度は専門教科を中心に地域連携をさらに推進していく。	A	B
学校関係者評価委員会における意見		○学校HPがスピーディに更新されるようになり、年間をとおして学校の様子を知ることができた。 ○特色ある学校づくりを推進し、少子化の中でも多くの生徒が入学したい学校を目指して欲しい。 ○地域との連携を深化するため学校開放講座の活用も考えて欲しい。			

3 次年度の課題と改善方策

次年度の課題	改善方策
① ICTを活用した授業づくり	1人1台のタブレット端末を利用した授業づくりのための職員研修の充実を図る。
③ 幅広い進路希望の達成	課外講習の実施や模擬試験の活用など、進学指導の体制を整える。
④ 学校行事の活性化	コロナ禍で実施が制限されていた行事について、生徒の意見を反映し活性化を図る。